

	課題（児童の実態、学習状況、指導の実態）	改善プラン（課題の改善プラン、具体的な手だて）
国語	<ul style="list-style-type: none"> 音読や音読発表に意欲的に取り組む児童が多い。 平仮名の形を正しく書こうとする意欲がある児童が多いが、書き順や鉛筆の持ち方が正しく定着できない児童もいる。 文章を書いたり、内容を読み取ったりする力に個人差がある。 拗音、促音、「は・を・へ」の定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字指導の際に、なぞりや空書きを効果的に取り入れて正しい書き順を意識させたり、鉛筆の持ち方を確認する機会をとったりしている。 実態に応じて個別に対応したり、スモールステップで指導を積み重ねたりしながら、書く力や読み取る力を伸ばしていく。 文章を書く機会を多く設定し、自分の考えを表現する力や正しく表記する力を伸ばしていく。 プリントなどで繰り返し学習をしたり、文章を書く際に意識させたりしていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 「できた」喜びを感じながら、意欲的に問題に取り組む児童が多い。 文章の意味を正しく理解し、問題に合わせた解答をすることに課題がある。 たし算やひき算の意味の理解の定着や計算の習熟などに個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態に応じて、授業中や休み時間、放課後等の時間を活用し、個別に対応しながら習熟を図る。 数学的活動を多く取り入れ、ブロックや図・言葉・式をつなげながら、演算決定などを行っていく。 計算の習熟を図るために、朝の時間や家庭学習で取り組む機会を意図的に設定する。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことや植物の成長などに興味をもちながら、意欲的に活動することができている。 いろいろな友達と関わりながら、楽しく活動する姿が多く見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> さらに様々なことに気付かせたり、豊かに表現する力を伸ばしたりできるよう「思いや願いをもつ→活動や体験をする→感じ、考える→表現し行う」プロセスを大切にし、活動や体験を充実させたり、表現の場の工夫を行ったりしていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> リズム打ちや歌唱に意欲的に取り組んでいる。 鍵盤ハーモニカの運指やタンギングなどの技能については、今後感染防止対策をしながら指導を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな曲やリズムに触れさせることで、楽器への興味や関心を高めていく。 演奏するときのきまりを含め、鍵盤ハーモニカの技能をスモールステップで丁寧に指導をしていく。

<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 創作活動に楽しんで取り組んでいる。 • はさみ、のりなどの用具の使い方や表現する技能に個人差がある。 • 思いがあっても、形にしようとするにつまずいてしまったり、作品が小さくなってしまったりする児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な創作活動を計画し、指先を使うものなどを意図的に取り入れていく。 • 作品づくりを行う前に、具体的なアイデアや方法を確認したり黒板に視覚化して分かりやすく提示したりするなど、表現できるための工夫をしていく。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 意欲的に運動に取り組むことができる。 • 感染症予防の観点から運動が制限されていることもあり、全体的に体力の低下が見られる。 • 苦手意識のある運動について、やりたくない気持ちをもつ児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業中の運動量の確保に努めたり、多様な動きが経験できるように年間の指導計画を見通したりしながら、指導の工夫を行う。 • 続けることで、できるようになることを伝えたり、児童が実感できるようにしたりする。
<p>道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 授業を通して、ねらいとする道徳的価値について実行したいという意欲を高める児童が多い。 • 自分の考えをもてなかつたり、表現できなかつたりする児童が多い。 • 実際の行動につなげていくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> • ペアやグループでの交流活動を取り入れ、自分の思いや考えを話しやすい場の設定をしていく。 • 教育活動全体を通して、実践力につなげていけるように指導を積み重ねていく。